物価高騰から くらし・営業まもれ！

日本共産党足立区議団

区内８００の医療機関と事業者へ緊急アンケート実施（2026年5月）

区民アンケート（16万枚配布）も行う中で、切実な区民の実態が浮き彫りになりました。医療機関、事業者、区民の声を届けるための緊急提案をおこないました。

共働きですが、この物価高の中、賃下げになりました。ローン返済もあるのでゆとりは全くありません。子どもの教育、夫の仕事のこと、私の仕事場所も、先行きが見えない。

【子育て世帯】

資材がなく今後の仕事の見通しが立たない。仕事はあるけど材料が問屋に入ってこない。ホームセンター回りをしている。

今後も材料資材が入らなければ、仕事は一切受けられなくなり、収入もなくなるだろう。

【塗装業者】

治療の際使用するグローブが現在入手困難で在庫がなくなれば休診するしかない。麻酔薬が入手出来ないので診療が困難。休診を考えている。

【歯科医師】

日本共産党区議団が区長に ４１項目の緊急提案！

2026年6月4日

提案１　抜本的な予算の組み換え（補正予算）と全庁的対策を

区民のくらし・営業をまもる立場で、抜本的な予算の組み換え（補正予算）措置

提案２　イラン戦争の影響から中小事業者の生業を守る対策

公共事業と建設事業分野について ／医療・福祉分野への支援 ／生業・事業継続への支援

提案３　物価高騰の影響から、区民生活を守る対策

国保・後期高齢医療・住民税について ／物価高騰から暮らしを守る「夢をあきらめない」子どもたちへの緊急支援を ／国への要請

提案４　熱中症から都民の命と健康を守る、暑さ対策の強化

エアコンの対策 ／小中学校の対策／涼み処について

提案５　その他の緊急要望

精神障害者保健福祉手帳の更新について／福祉分野の看護師の確保と育成

緊急提案の全文はこちらからご覧いただけます。

日本共産党の予算修正提案が次々と実現！

シルバーパスは来年度から全員実質1000円に

第2回定例会では、3月に日本共産党区議団が予算修正提案をした内容が次々と実現することが明らかになりました。

あきらめずに求めてきて良かった！

「シルバーパスを購入するのに1万2千円かかる住民税課税者が、区が1万1千円の補助を行うことで、全員が実質千円の負担で済むようになります。具体的には来年10月の更新からの実施になります。本会議代表質問で繰り返し求めてきたのは、日本共産党区議団だけでした。23区では荒川区に続き周辺区が次々実施を表明しても「慎重に検討」と答弁を繰り返すので、予算修正案も提出して実現を迫り、今定例会で、区が実施を表明しました。

介護・障がい・保育事業所の物価高騰支援も実現

介護・障がい・保育などの福祉分野は公定価格などの収入は増えないのに物価の高騰で経営が圧迫され、利用者に影響が出かねません。

日本共産党は今年2月の代表質問で「新年度予算は過去最高額を更新する中で、物価高騰対策は極めて不十分、特に昨年度実施した介護・障がい・保育施設の支援策が物価高騰が継続しているにもかかわらず、計上されていないのは全く道理がない」と予算の組み替えを求め、その後も繰り返し求めて、ついに今議会の予算で、昨年同様の物価高騰対策が盛り込まれました。

昨年同様に事業所規模に応じて6万円～89万4千円を上半期の光熱費高騰分として給付します。

支給額は、日本共産党足立区議団が予算修正案で示したものとほぼ同額で、党区議団の積算能力の正確さを証明するものです。

日本共産党の予算修正案は、自民・公明・都民ファなどが反対して否決しましたが、今回実現に至りました。

シルバーパスの負担軽減、保育・介護・障がい事業者への物価高騰支援を含む「日本共産党区議団の予算修正案」への各党の態度

自民	公明	共産	是々非々（参政・維新など）	都民ファ	結果
反対	反対	賛成	反対	反対	否決

※「一部同意できる」などの発言が相次ぐ中、公明党は「到底容認できるものではない」と全否定して反対しました。

日本共産党
足立区議団ニュース
２０２６年　第２回定例区議会報告　No. 208

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者　ぬかが和子
編集責任者　小林ともよ

ご意見・ご要望・くらしの相談は区議団へ
区議団　03-3880-5770　Fax. 03-3880-5682
足立区議団のメールアドレス　acmp@blue.ocn.ne.jp
共産党足立区議団

タワマンに数百億円補助するよりも、地域の学校・くらし応援を！

「子育てしやすいをめざす」といいながら、学校をつぶすのはおかしい！

8つの小中学校を3つにへらす「強引な統廃合計画」ストップを！

足立区は現在、20代・30代を中心に人口が６３００人も増えているのに、竹の塚・花畑・中川地域の８校を統廃合する計画を見直さず、矢継ぎ早に進める姿勢は問題です。日本共産党区議団の本会議・文教委員会での質疑で、区の不誠実な姿勢が浮き彫りになりました。

現場無視！区の言う「適正規模」ってだれのため？

「小規模校（竹の塚中や花西小など）は1人ひとり丁寧に見られる良さがある」と現場の先生や青少年委員からも声が上がっています。

統廃合された学校では、子どもたちが落ち着かなくなったり、不登校のリスクが高まったりする懸念を元教員らも指摘しています。

本当に「子どものため」ですか？「教育にお金をかけたくない」からではありませんか？

説明会は紛糾。子どもや当事者の声もきかない

82人が参加した竹の塚・渕江中の住民説明会では住民の不安に一切答えず、区側が怒り口調になる場面も。学校長の懸念の声もスルーし、生徒会役員の心からの訴えも無視する姿勢です。

「８割の反対は『一部の反対』」と驚きの議会答弁！

「統合やむなし」と言っているのは、ごくごくわずかです。「開かれた学校づくり協議会メンバー（PTA会長や町会役員）の８割が統合反対の陳情に署名しているではないか」と代表質問で迫ると、区は「一部には反対意見もある」と言い放ちました。８割の反対を「一部」とすり替えてすすめるやり方は異常です。

日本共産党はみなさんとともに頑張ります

行政の都合で、子どもたちの「大切な居場所」を奪うことは許されません。ためこんだ積立金1817億円は全国トップクラス！学校をつぶすのではなく単独で建替えを行うべきです。保護者・地域住民、そして子どもたちが主役です。みなさんとともに頑張ります。

青切符より自転車専用道を！

第六建設事務所・警視庁・都交通局に申し入れ

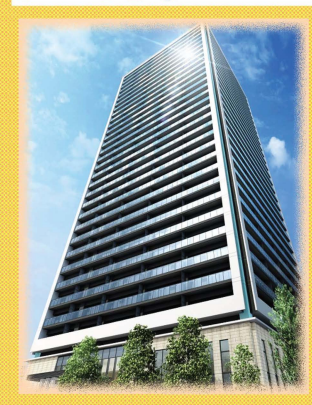
日本共産党足立区議団は斉藤まりこ都議とともに都の機関に横断歩道や信号機の設置、危ない道路や交通の改善、公共交通の充実など、地域の声を届けました。

東京都第六建設事務所、警視庁には今年４月から施行された自転車の青切符導入に対し「安全に走れる環境づくり」「自転車専用道の早期整備」こそ急ぐべき。都交通局には日暮里・舎人ライナーの全国１位の混雑率解消のための抜本的な対策を強く求めました。

六建事務所に要望書を渡す党区議団と斉藤都議

変貌する足立区。タワマン・再開発を実感

区議とめぐるバスツアー



足立区は、５つの市街地再開発・７つのエリア開発・１０のタワーマンション建設を同時に進めていますが、大半が大手不動産デベロッパーやゼネコンの為の大型開発が中心です。タワマンのどれもが1億円超えで、とても区民に手が届くものではありません。これらの開発に数百億円規模で、税金が投入されようとしています。

その実態を直接見て一緒に考えませんか。

日時：8月23日（日）

午前の部　9時～12時　午後の部　13時～16時

どちらも同じコース。全区議が同乗し案内します。

集合場所：北千住駅東口電大前交通広場

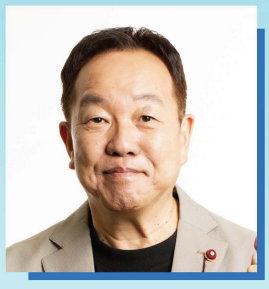
費用：１８００円（資料代込み）

申込先：03-3880-5770（共産党区議団控室）

主催：日本共産党足立区議団

区議団の役職と所属委員会

区議団長
ぬかが和子
議会運営委員会
総務委員会（副委員長）
エリアデザイン調査特別委員会



幹事長
はたの昭彦
議会運営委員会
区民委員会（副委員長）
総合交通対策調査特別委員会

区議会議員
山中ちえ子
建設委員会（副委員長）
子ども・子育て支援対策調査特別委員会

政調委員長
横田　ゆう
厚生委員会
エリアデザイン調査特別委員会（委員長）

副幹事長
小林ともよ
産業環境委員会
総合交通対策調査特別委員会（副委員長）

副幹事長
西の原ゆま
文教委員会（副委員長）
災害・オウム対策調査特別委員会